

第346回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

日時：平成26年4月14日(月) 18:00

場所：大阪大学医学部講義棟B講堂

テーマ：高度肥満に対する減量手術と栄養指導 ～チーム医療にその鍵がある～

大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学専攻
外科学講座消化器外科学 宮崎安弘 先生
大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部
徳澤千恵 栄養士

肥満症治療の基本は食事療法・栄養指導などの内科的治療が中心であるが、BMIが35以上を呈するような「高度肥満症」に対しては、内科的治療が長期的にみれば不成功に終わることが多いとされている。このような高度肥満に対する外科手術(減量手術)が、海外では積極的に行われるようになってきた。その理由として、手術手技の進歩による安全性の向上とともに、良好な手術成績(減量および肥満関連合併症の改善)が報告されるようになったことがあげられる。

減量手術のひとつである「腹腔鏡下スリーブ状(袖状)胃切除術」は、先進医療として当院を含む複数の施設で行われており、2014年より保険収載されることになった術式である。本術式の良好な手術成績が報告される一方で、術後のリバウンドや栄養失調の問題、精神的な問題の悪化なども知られている。高度肥満症患者は身体的問題(多数の肥満関連合併症)だけではなく、精神的・心理的問題やダイエットに関する誤った知識を持っていることが多いことから、術後のリバウンドを予防し、減量手術効果を最大限発揮させるためには、内科医・栄養士・臨床心理士・外科医などの多職種に渡る治療介入が必須である。

“手術をすれば痩せられる”わけでは決してなく、減量手術の成功の鍵は、肥満症治療に関わる多職種が患者を含めたチームとなって治療に当たることである。本研究会では、減量手術と栄養指導を中心に、高度肥満症に対する治療について発表するとともに、実際に当院における症例について紹介し、チーム医療の重要性について触れたいと思う。

世話人：大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部栄養管理室 長井直子

E-mail: nagaink@hosp.med.osaka-u.ac.jp

次回、第347回CNCは、薬剤部 大石 雅子先生のお世話で
平成26年5月12日(月)に開催予定です。